

# 広報いわたき



開会式



準備体操



紅白玉入れ



障害物競走↓

みんながジャンプ↑



大玉ころがし



岩滝ソーラン

## 岩滝地区連合大運動会

9月12日

(岩滝小体育発表会として)

●発行者●  
岩滝まちづくり  
協議会  
TEL 77-9877  
FAX 77-9409  
メール  
iwataki@hidataya  
yama.ne.jp



一輪車演技団



応援合戦

コロナ緊急事態宣言のため規模を縮小して、児童・先生・PTAで行いました。来年は岩滝みんなが集まりたいです。



優勝

白団



二人でゴール



岩滝やんさ・少ヶ野おどり



優勝

赤団



全校リレー

# 岩滝小 夏休み作品展



てつやはうす 新田哲也



チューリップばたけ 清水美琴



イルちゃんちょきんばこ 中島優花



かいがらのペンたて 上野夢愛



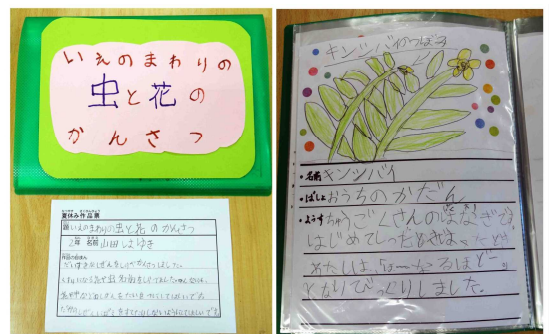
いろいろ発見ひだ高山の宝物 塚本奈々花



シェルランプ 西野芽生



はで本だな と まほうの折り紙 上野有杏



いえのまわりの虫と花のかんざつ 山田葉結貴



カフト  
クワガタ大集合!  
川尻英輔

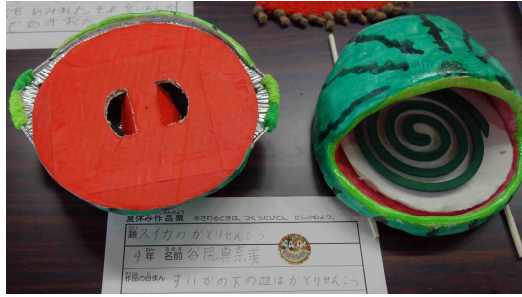


足がリアルですね。

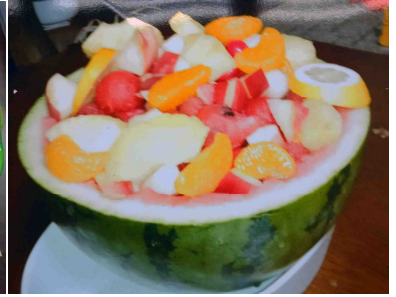
例年なら運動会の時に校内に展示されている作品を見ていただけなのですが、コロナの影響で昨年に続きご覧いただけませんでした。のでここに紹介しました。



さきあみ 森下そら



スイカのかとりせんこう  
谷尻真奈美



カラフルレインボースイカ  
新田洋平



## 岩滝の本通りを行く

下の「峠の送りオオカミ」は岩滝小発刊「いろりばた」の中の昔話です。くりの木から大回りまでの山道が昔の「岩滝の本通り」でした。左の航空写真のどこを通ったのでしょうか。  
実際に通った経験をお持ちの方はいらっしゃいますか？

### 峠の送りオオカミ

昔は、岩滝から高山の町へ行く道路は塩屋の谷口パーマ店のそばのさこを上って峠をこし、今、不動様のござる大回りのさこへ下りてきたのだそう。細い山道だったので、高山へ運ぶ荷物も、高山で買った荷物もみんな背中におねたそう。行きも帰りも歩いたので、急いで用事をすませても、明るいうちに帰れない事もあったそう。



さて、夜の九時か十時になって塩屋で坂道にさしかかると、後の方からドスン・ドスンと、気持ちの悪い音がついてきこえてきた。今に何かが出てくるのではないかと、暗い山道を必死で歩き、峠を下って落合橋までくると、その音はたと消えたそう。

岩滝の男衆は「おれもそういう目に合ったぞ。」「わりもか、おれもそういう目に合ったぞ。」「何としても、明るいうちに帰らんと、またあのきみの悪い音にやられるぞ。」と、語り合ったものだ。だけど、だれもおそれたりしたものもなかったそう。

そのうちにだれが言い出したものか「あれは送りオオカミといってな。夜おそく峠をこす人がおそれないように、見守ってくれるオオカミだそうな。」そんな話がきこえてからは、ドスン・ドスンというきみの悪い音が後をつけてきても、かえって力になって岩滝の男どもは大変安心したそう。



9月10日、子どもの頃に通ったことがあるという大下和男さんをお願いして案内していただきました。「昭和6年の祖父の葬儀でこの道を通って物を運んだと聞いている。その時はまだ下の道は通っていない。いつ頃から下の道を通るようになったのかはつきり覚えていない。」とおっしゃって見えました。



②はじめは幅3mほどの道



①ここから旧道へ



④軽トラの跡。ゆるやかな登りが続く



③右手は谷川。イノシシの畏も



⑦広い桑畑の跡。道に迷う。



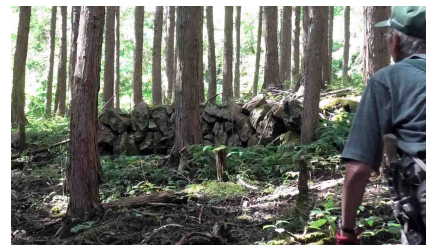
⑥鯉池の跡。ここまで26分。



⑤倒木が道をふさぐ(4ヶ所ほど)



⑩旧道に戻り、ここから下へ。



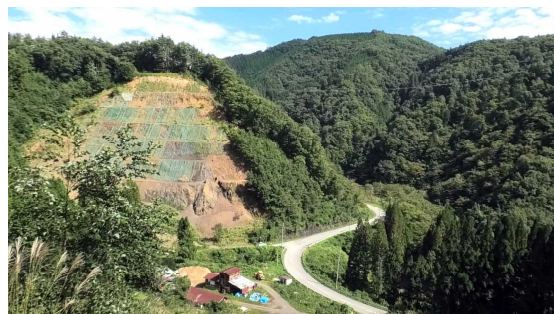
⑨桑畑があった頃の小屋跡か？



⑧広い桑畑跡。下には笹原も



砂利採取場の建物のわきに不動様がありました。



←眺め



⑪砂利採取場の肩(矢印)に出ました